

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表(令和3年度事業)

(単位:千円)

No	交付金事業の名称	事業実績	総事業費	うち 交付金充当	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実施による効果	
1	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、各施設及び各事業において消耗品、備品等を整備する。	・役場庁舎用 7,158千円、消防施設用 1,953千円、介護事業用 71千円、商業施設用 656千円、教育施設用 1,265千円、社会福祉センター用 1,361千円、スポーツ施設用 403千円、文化施設用 14千円(パーティション、消毒液、ペーパータオル、プラスチックグローブ、洗剤、消毒液噴霧器、マスクほか)	12,881	12,298	R3.4.1	R4.3.31	各施設のカウンターや職員の机等にパーティションを設置し、来庁者・職員間の飛沫感染抑止のほか、来庁者用として消毒液噴霧器用スタンドなどを設置し、手指の消毒を徹底することで感染症対策を図ることができた。
2	防災活動支援事業	近年頻発、激甚化する自然災害等に備え、避難所において感染を防ぐための消耗品、備品等を整備する。	・防災用コンテナ 3,465千円((W2.4m×L6m×H2.6m)×2基) ・防災用物置 530千円	3,995	3,814	R3.5.11	R4.3.30	コロナ禍における避難所開設時の感染症対策として期待できる。
3	公民館図書室システムオンライン化事業	新たな生活様式に対応した図書室を目指し、蔵書情報のオンライン化やインターネットでの予約による貸し出し等、読書環境の充実及び感染リスクの低減を図る。	・書誌データ登録に係る人件費 2,127千円 ・バーコード、読書通帳代 1,468千円 ・図書管理システム構築費用 1,309千円 ・図書管理システムライセンス料 431千円 ・図書管理システム用備品 1,136千円	6,471	6,178	R3.4.1	R4.3.31	システムの導入が完了し、貸出、返却の迅速化、在宅での図書の予約が可能となったことで、感染リスクの低減を図ることができた。
4	水産物販路拡大支援補助事業	町内や内陸部など感染症の影響により直接鮮魚の購入機会が減少した地域を主として、事前注文による配送等により地産地消や新たな販路開拓、流通改善につなげようとする白糠漁業協同組合の取り組みに対して支援する。	・冷凍、冷蔵機能付き車両1台 8,772千円	8,771	8,374	R3.4.14	R4.3.30	白糠漁業協同組合に対し支援することで、新たな販路拡大や白糠産の魚介類などをイベント等で宣伝販売に活用など、水産業の振興を図ることが期待できる。
5	小規模事業者支援補助事業	国の補助金を活用して販路開拓等に取り組む場合の自己負担を軽減することにより、生産性の向上並びに持続的発展を図る。	・対象事業者 6者 (国費2/3(上限50万円)、町費1/3以内(25万円以内))	1,211	1,156	R3.4.1	R4.3.30	対象となる事業者に対して補助し、負担を軽減することにより、持続的発展を図ることができた。
6	元氣しらぬか応援券事業	新型コロナウイルス感染症の影響が大きい商工業者に対する応援とともに、町民の皆様へ元氣と活力を取り戻して頂くことを目的に実施する。	・第4弾 発行額 52,122千円、利用額 51,118千円、利用率 98.07% ・応援券発送等に係る費用 4,230千円	55,348	52,841	R3.6.9	R3.10.7	コロナ禍が著しく追い込んだ飲食業に対しての経済対策と町民に対する生活支援として効果的であった。
7	指定管理施設運営継続事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に影響を受けている指定管理者に対し、事業継続に向けた支援を行う。	・指定管理者 0件	1,293	0	R3.9.14	R3.9.30	なし
8	公共交通機関感染症防止対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、町内交通事業者が安全・安心な運行を継続するため、車内に抗菌加工を施し、公共交通の利用環境整備を図る。	・コミュニティバス 3台 367千円 ・スクールバス 3台 368千円 ・タクシー車両 4台 216千円	951	908	R3.6.22	R3.9.10	コミュニティバス等の車内の座席や手すり等に特殊抗菌加工することで、公共交通機関利用者の感染リスクの低減を図ることができた。
9	修学旅行等キャンセル料補助事業	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、町立学校が予定していた修学旅行等を中止又は延期したことによって生じるキャンセル料を支援する。	・3校 267千円	267	255	R3.6.11	R3.10.20	修学旅行の延期または中止に伴う、キャンセル料を補助することで、保護者の経済的な負担を軽減することができた。
10	公共交通維持確保支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に大きな影響を受けている公共交通事業者に対し、事業継続に向けた支援を行うことにより、交通網の維持確保に努める。	・事業安定化支援金 4,570千円	4,570	4,363	R3.10.18	R4.3.2	経営状況に影響を受けている公共交通事業者に対して、事業継続の支援として効果的であった。
11	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 学校の感染症対策を徹底しながら子どもたちの学習保障をするため、備品等を整備する。	・感染症対策・学習保障用備品購入経費 3,654千円(実物投影机、保健用備品、加湿器等) ・デジタル教科書使用料 1,228千円	4,882	2,400	R3.4.1	R4.6.30	児童生徒の学習機会を確保する環境を整え、コロナ禍における学びの保障に大きな効果を発揮した。
12	テレワーク環境整備事業	町職員のテレワーク環境を整備し、感染症拡大防止と行政サービスの継続性を確保する。	・端末購入等経費 1,097千円 ・テレワーク環境構築 396千円 ・SIMカード利用料 895千円	2,388	2,279	R3.9.22	R4.3.31	町職員のテレワーク環境を整備したことで、庁内でクラスターが発生した場合でも行政サービスの継続性を確保することが期待できる。
13	貸切バス事業者支援事業	経営に大きな影響が生じている貸切バス事業者に対し、前年度の同期間中(5月～9月)の貸切バス使用料の差額を算出基礎として支援する。	・貸切バス事業者支援事業補助金 1,000千円	1,000	955	R3.12.17	R3.12.27	経営状況に影響を受けている公共交通事業者に対しての事業継続の支援として効果的であった。
No	交付金事業の名称	事業実績	総事業費	うち	事業開始	事業完了	事業実施による効果	

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表(令和3年度事業)

(単位:千円)

				交付金充当	年月日	年月日		
14	議場設備更新事業	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、議場内(傍聴席を含む)の各所にパーティションの設置や密を避ける改修を実施するほか、議員席を二人掛けから一人掛に改修し、合わせてマイク等の音響設備を更新する。 また、職員が議会を傍聴する際、モニター設置場所に参集しており、密となることから、自席での傍聴を可能とするため、議場の映像設備の更新等を実施する。	・議場内(傍聴席含む)改修 1,269千円 ・音響等設備更新 21,152千円 ・映像設備更新 518千円	22,939	21,901	R3.12.22	R4.3.30	議場内の議員席の配置変更に伴い、音響等設備を更新したほか、新型コロナウイルス感染症対策としてパーティションやサーキュレーター等の設置、換気扇を更新したことで感染リスクの低減を図ることができた。
15	インフルエンザ予防接種事業	新型コロナウイルスと症状が酷似するインフルエンザの感染を抑制することで、高熱などの症状が現れたときに新型コロナウイルス感染者である判断及び治療への速やかな移行が可能となることから、中学生以下を対象に予防接種料金を無償化することで予防接種の促進を図る。	・インフルエンザ予防接種業務 1,877千円 (3,170円×592回 ※小学生以下2回) (満1歳から12歳 延べ503人、13歳から15歳 延べ89人)	1,877	1,792	R3.11.1	R4.3.31	季節性インフルエンザの流行を防ぎ、医療体制の維持を図ることができた。
16	元気しらぬか応援券事業	新型コロナウイルス感染症の影響が大きい商工業者に対する応援とともに、町民の皆様へ元気と活力を取り戻して頂くことを目的に実施する。	・第5弾 発行額 36,880千円、利用額 36,450千円、利用率 98.83 ・応援券発送等に係る費用 3,430千円	4,464	4,262	R3.12.8	R4.3.31	コロナ禍が著しく追い込んだ飲食業に対する経済対策と町民に対する生活支援として効果的であった。
17	元気しらぬか応援券事業	同上【繰越分含む】	同上【繰越分 6,164千円】	35,416	31,352	R3.12.8	R4.5.16	同上
18	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 学校の感染症対策を徹底しながら子どもたちの学習保障をするため、備品等を整備する。	・感染症対策用備品購入経費 401千円 (パーティション、サーキュレーター等)	401	150	R3.8.4	R4.2.10	児童生徒の学習機会を確保する環境を整え、コロナ禍における学びの保障に大きな効果を発揮した。
19	疾病予防対策事業費等補助金	(マイナンバー情報連携体制整備事業) ・ロタウイルスが定期接種化されたことに伴い、マイナンバー情報連携に係るデータ標準レイアウトが改正され、予防接種情報のマイナンバー情報連携が可能となったことから、それに対応するためのシステム改修を実施する。	・健康管理システム改修業務 457千円	457	37	R3.5.19	R3.8.20	健康管理システムの改修が完了し、定期接種化されたロタウイルスワクチンの接種記録に係る情報連携体制を整備することができた。
20	児童福祉事業対策費等補助金	(虐待防止のための情報共有システム構築事業) ・児童虐待などの情報について、効率的に情報共有する全国共通システムの運用が開始されたことから、本町の関連データと情報連携するためのシステム構築を実施する。	・虐待防止のための情報共有システム連携構築業務 825千円	825	413	R3.12.23	R4.3.31	虐待防止のための情報共有システムの構築が完了し、要保護児童等に登録された児童情報について、定期的に国へ提出し情報を図ることで、リスクの上がる転出時の対応強化を図ることができた。
21	保育対策総合支援事業費補助金	(保育環境改善等事業のうち新型コロナウイルス感染症対策支援事業及び保育所等における感染症対策のための改修整備等事業) ・保育所等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、感染症対策用の消耗品等を整備する。	・感染症対策用消耗品購入経費 521千円 (消毒液等)	521	260	R3.5.18	R3.6.18	保育所等職員が感染対策を図りながら、保育を継続的に実施していくために必要な経費を補助することで、保育所等が継続して保育を行うことができた。
22	疾病予防対策事業費等補助金	(健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業) ・健康増進法に基づく「がん検診」などの検診結果データを、自治体中間サーバを介したマイナポータル上において情報連携するためのシステム改修を実施する。	・健康管理システム改修業務 1,705千円	1,705	419	R3.10.6	R4.3.31	健康管理システムの改修が完了し、個人がマイナポータルを通じて、自身の健(検)診結果等を閲覧できる体制を整備することができた。
23	疾病予防対策事業費等補助金	(健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業) ・健康増進法に基づく「がん検診」などの検診結果データを、自治体中間サーバを介したマイナポータル上において情報連携するためのシステム改修を実施する。	・健康管理システム改修業務 2,354千円	2,354	386	R3.10.6	R4.3.31	同上
合計				174,987	156,793			